

豊かな感性を育み、自分の思いを素直に表現する幼児を
育てる支援の在り方
～幼児理解を図るドキュメンテーションの活用を通して～

令和4・5年度幼児教育 研究推進校
常陸太田市立太田進徳幼稚園



1 研究のねらい

幼児理解を図るドキュメンテーションを活用しながら、豊かな感性を育み、自分の思いを素直に表現する幼児を育てるための支援の在り方について探る。

2 研究の内容

- ① 幼児教育において育みたい資質・能力を踏まえた教育課程の編成
- ② 幼児が主体的・対話的な深い学びを実現する環境の構成の工夫・改善
- ③ 幼児一人一人が自分の思いを言葉で表現できるまでの過程を分析・改善
- ④ 幼児一人一人が自分の思いを言葉で表現する場の確保と工夫・改善
- ⑤ 幼児理解につながるドキュメンテーションの活用法の改善・充実
- ⑥ 職員間での情報共有・共通理解を図るための研修の推進とカリキュラム・マネジメントの実施による幼児教育の理解



3 研究の成果 その1

★ 番号は「2 研究の内容」と関連しています。

- ① 週案を作成するにあたり、評価・改善しながら資質・能力の3つの柱について学んできたことで、幼児に対する思いや関わり方等、教師間で共通理解を図ることができた。また、見直しを繰り返してきたことで、幼児教育において育みたい資質・能力についての理解が深まった。
- ② 興味・関心をもって積極的に関わりたくなるような環境を工夫・改善してきたことで、幼児一人一人が自分のやりたいことを明確にし、試行錯誤しながら主体的に行動する姿が増えた。また、意図的にクラスやグループで話し合う機会を設け、ドキュメンテーションを通して可視化することで、幼児同士が互いの思いを理解し合い、対話的な深い学びにつなげることができた。
- ③④ 幼児が自分の思いを言葉で表現する場を意図的に設けながら、認めてもらう経験や、「できた」という経験を繰り返し重ねてきたことで、自分の思いを素直に表現したり、自信をもって表現したりする幼児を育成することができた。



3 研究の成果 その2

★ 番号は「2 研究の内容」と関連しています。



- ⑤ 写真や動画を用いて保育を振り返ることのできるドキュメンテーションの活用は、幼児の育ちや課題を明確にし、共通理解を図ることに有効であった。
- 幼児に対しては、振り返りとして活用することで、自分の姿を客観的に受け止め、今後の行動につながるきっかけをつくることができた。
- 保護者に対しては、懇談会等で活用することで教師の思いや幼児の成長の姿を明確に伝えることができた。
- 教師同士では、共通理解がスムーズになり明瞭化が図れたこと、振り返りから評価につなげ易くなったことが大きな成果であった。
- テレビやカメラの台数を増やすなど、環境を整備することが活用の継続に有効かつ不可欠であった。
- ⑥ 全職員で全園児の情報共有・共通理解を図る研修を進める中で、教師自身が相手の話を聞き、互いの意見を素直に受け入れる関係性を構築することができた。また、カリキュラム・マネジメントを計画的かつ組織的に進めることで、教師の質の向上につながった。

4 今後の課題

★ 番号は「2 研究の内容」と関連しています。

- ① 幼児教育において育みたい資質・能力を踏まえた教育課程を再編成していく。
- ② 教師の意図を明確にした主体的・対話的な深い学びを実現させるためのさらなる工夫・改善に努めていく。
- ③④ 本園の取組である自分の思いを素直に表現する幼児の育成のために、間違いが許される環境作り、自分の思いを受け止めてもらえる経験の積み重ね、自信につながる経験がさらに充実していくよう取り組んでいく。
- ⑤ 保護者に対して、様々な形で実施してきたドキュメンテーションの評価・改善を図るため、保護者がどう受け止めているのかのアンケートを実施していく。
- ⑥ 職員間の情報共有・共通理解をさらに進めるために、クラスごとに話し合う時間の確保や全クラスの職員が同じ部屋で話し合いをする場の確保等、環境設定を工夫していく。

常陸太田市立太田進徳幼稚園の研究の詳細は、茨城県教育委員会ホームページの幼児教育指導資料「茨城の幼児教育第49号」をご覧ください！

